



国際会長	《2022-2023年度主題》 ウルリック・ラウリドセン (DNK) "Let Your Light Shine" ("輝かそう、あなたの光を")
アジア太平洋地域会長	チェン・チ・ミン(TWN) "Elegantly Change with New Era"
東日本区理事	佐藤 重良 (甲府21) 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
湘南・沖縄部長	小松 仲史 (厚木) 「楽しく・元氣よく・前向きに」
クラブ会長	今城 高之 「楽しく、なにはさておき楽しく！」

2022-2023 クラブ役員	
会長	今城 高之
直前会長	辻 剛
書記	岡田 美和
会計	横田 孝久

今月の聖句

「主は平和を宣言されます／
御自分の民に、主の慈しみに
生きる人々に／彼らが愚かなふるま
いに戻らないように。」

詩編85・9

《巻頭メッセージ》

大学時代の仲間

鴨下 純久

前回、巻頭言を担当したのは2021年12月です。ら、一年半ぶりの登場となります。その時は趣味の釣りのことを書きましたが、今回は大学時代の仲間のことについて触れたいと思います。この2ヶ月で大学時代のサッカー部の仲間と会う機会が3回あり、食事をしながら美味しいお酒を酌み交わしました。1回は静岡に用があつて、その時に連絡して会った仲間、あとの2回は、京都出身と広島出身の者から、「横浜へ行くので会わないか」と連絡を受けた仲間です。私は大学時代、体育学部で学びながら、在籍中はサッカー部に所属していました。私が所属していたサッカー部の学生は、全員4年間寮生活をするのが絶対条件でしたので、まさに寝食を共に過ごした仲間です。同級生には、北は北海道から南は鹿児島出身の者がいて、全国大会や国体で活躍する選手が多かったです。全国どこへ行っても、多くの都道府県に誰かいるのも嬉しいことです。卒業して30年以上経ちますが、どれだけ時間が経っても、4年間寮生活を共にしていたので、会うと学生時代に戻った気持ちになり、昔話に盛り上がり、笑いが絶えない時間となります。



同期生の多くは、卒業後様々な場所で活躍しています。教員をはじめ公務員として働き、活躍している者も多くいて、いつの間にか校長先生になっている者もいます。Jリーガーとして活躍した選手や今もJリーグのクラブチームで働く者もいます。また、プロゴルファーになった者もいます。大学を出てからゴルフを始めて、ゴルフ場でキャディをやりながら、研修生として練習を重ね、プロ試験に合格したそうです。以前、一緒にゴルフをプレーしたことがありますが、流石プロという腕前を披露してくれました。今はティーチングプロとしても活躍しています。

個性豊かな者が多くいますが、当時の仲間と会うと元氣をもらえますし、本当に宝だと感じます。また、みんなで集まれる日を楽しみにしている今日この頃です。

(つづきクラブ担当主事/横浜北YMCA館長)

6月本例会

日時：6月23日(金) 17:30～

場所：かけはし都筑

司会：今城宏子 受付：鈴木恭子

=プログラム=

1. 開会点鐘 会長
2. ワイズソング・信条 一同
3. 今月の聖句と祈祷 相賀C
4. 会長挨拶
5. ゲスト・ヴィジター紹介
6. 卓話 鈴木茂さん
演題『ワイズとYMCA』
7. 協議・報告
8. YMCA報告 鴨下館長
9. Happy Birthday
10日 横田孝久さん
21日 大野君枝さん
10. アピール・スマイル
11. 閉会点鐘

※閉会后、サルバトーレ(センター南)で懇親会を行います。

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《例会報告》

本例会・三者交流会

去る5月26日、つづきクラブの5月度本例会に引き続き、横浜北YMCA、横浜つるみクラブ、当クラブの三者交流会を開催しました。場所は、何れも、横浜北YMCAが所在する菊名の中華料理店「敦煌」で行いました。

【第1部】横浜つづきワイズメン&ウィメンズクラブ

本例会

日時：5月26日（金）17:00～17:45

場所：菊名「敦煌」

出席：相賀、今城T・H、大野、岡田、鴨下、坂口、
鈴木K・S、辻Ta・Ts、横田

司会：辻Ts 受付・記録：今城H

0. 会長の開会点鐘に続き、相賀チャレンから聖句朗読、祈祷を頂いた。会長挨拶に続き、以下の議事を行った。

1. You & I コンサートのチラシ等の記載事項の件
YMCA関係者から障がい児・者の表記内容についての提案を受けクラブの考えを検討した。結果、10年の実績とコンサート関係者の意見も踏まえ、今まで通りとすることを決定した。必要に応じて丁寧な説明をしていく。
2. 10月の移動例会について
当初考えていた「富士山例会」は、富士山YMCA・GEV既に予約がいっぱいのため、残念ながら断念。バス旅行を計画する。
以前、台風のためキャンセルとなった山中湖方面を目的とする案が浮上。
バスの予約は今城会長に依頼。（無事完了との報告あり）
3. 9月本例会では、横浜YMCAの石川はるみさん（ウクライナ避難民サポートの「みどり会」担当）に卓話をお願いすることが出来た。（辻TSワイズ）
4. 胡麻尻眞佐さんから今期末をもって退会の希望が出

され、承認した。

5. ハッピーバースデーは鈴木茂さん。プレゼントはお預けとなったが、皆でお祝いの歌を唱和。
6. 18:00から予定されている「つるみクラブ」、北YMCAとの懇親会に全員出席のため閉会。

以上（報告者：今城宏子）

【第2部】三者交流会

18:00より、「敦煌」において、当クラブと横浜つるみクラブ、横浜北YMCAの三者による交流会を開催した。コロナ禍以前はつづきクラブと北YMCAの二者による交流会を毎年開催してきたが、昨年より、横浜つるみクラブも交えての三者による交流会を行っている。

出席者： 横浜つづきクラブ 12名（含む主事）
横浜つるみクラブ 7名
横浜北YMCA 11名 計30名

なお、北YMCA出席者の内6名が運営委員（元委員を含む）であった。

- ① 北YMCA太田聡主事の司会により定刻に開会
- ② 鴨下北Y館長、今城つづきクラブ会長、久保つるみクラブ会長の順で挨拶。
- ③ 鈴木茂ワイズの音頭により乾杯し会食スタート
- ④ 宴もたけなわとなり、順番に参加者の自己紹介を行う。
- ⑤ 楽しい懇談の時間をもち、最後に、元北YMCA運営委員長茂木信さんの閉会挨拶で終了。



鈴木茂さんの乾杯でスタート



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《特別寄稿》

東日本区定款改定の経緯 ～その2～

元東日本区定款改訂委員会委員長 辻 剛 (つづきクラブ)

2013年4月13日(2012-2013年度)、上記答申を受けて駒田勝彦理事は、第3回東日本区役員会に「東日本区定款第7条常任役員会に関する一部改訂の件」を提案したが、動議が出され「継続審議」となった。一部分の定款改訂といえども、最終的には国際議会の承認を得なければならないことを考えれば、当然の措置と思われる。

2011-2012年度には、文献委員会と組織検討委員会、委員会および委員の数が多すぎるとの認識から、「文献・組織検討委員会」として統合され、発足した。統合を機に委員会規則を作成し、「理事の指示により課題を検討する」だけでなく、「委員会自ら組織に関する問題提起ができる」ことにした。この決定は、その後の文献・組織検討委員会の積極的な活動の礎になった。

3. 本格的な取り組み(2014年-2017年)

2013-2014年度、上記のような定款の一部改訂の動きに触発されたこともあり、文献・組織検討委員会(辻剛委員長・横浜つづき)は、委員会の自主的提案活動として「東日本区定款見直し」についての検討を基本方針の一つとして掲げた。当初は、中・長期に取り組むべき課題であることからして慎重に検討する方向であったが、議論を重ねる中で、より前向きに検討する方向になった。そこで論点を4つのテーマ(「理念・モットー・目的」、「組織」、「財務」、「運営・運用」)に絞り検討を行った。

2014年2月18日、文献・組織検討委員会は、「東日本区定款の見直し」について検討を終了し、「定款改訂の提案」を渡辺喜代美理事(十勝)に答申し、第3回東日本区役員会(2014年4月5日・6日)にて承認された。

(1) 「提言」内容

1. 「前文」の作成

私たちの運動は奉仕団体として広い視野をもちつつ、青少年を始め、あらゆる世代、性別、宗教、文化、時代の違いを超えて、多くの人々から共感と理解を得られる集団でありたい。この思いを東日本区定款に反映させるため、ワイズとYMCAの理念をよりよく理解できる魅力的で格調の高い「表現」(注)を作成すべきと提案する。

(注)この「表現」を「前文」或いは「ガイダンス」と位置付けるなどの最終的な取り扱いは、役員会、代議員会の判断に委ねる。

2. 「定款見直し」

文献・組織検討委員会の改訂案である「東日本区定款:意見まとめ」を参考に現行の東日本区定款を逐条的に見直して東日本区定款改訂委員会のための『タタキ台』を作成する。

2014年5月11日、上記を受けた渡辺喜代美理事から

の諮問に対し、文献・組織検討委員会は、「東日本区定款見直しに関する実施体制並びに組織について」を答申し、2014年度第4回東日本区役員会(2014年6月6日)で「東日本区定款見直しに関する組織運営の件」が承認された。

(2) 「答申」内容

第1段階:「ワーキングチーム(WT)の設置」(2014-15年度中に委員構成は10名前後で設置する)

第2段階:「東日本区定款改訂委員会に移行」(20名前後の委員会とし、最終案を作成)

2014年11月25日、「東日本区定款改訂ワーキングチーム」(小倉恵一チームリーダー)が発足した。

(3) WTのメンバー構成

伊藤幾夫(東京コスモス)、小倉恵一(甲府)、小山憲彦(東京サンライズ)、清水弘一(石巻広域)、田中博之(東京)、辻剛(横浜つづき)、利根川恵子(川越)、宮内友弥(東京武蔵野多摩)、吉田明弘(東京西)、渡辺隆(甲府)(以上、10名)

(4) WTの活動状況

1. 第1回会合(2014. 11. 25)から第11回会合(2016年7月8日)まで、足掛け2年をかけて会合を重ね逐条的に検討を行った。効率的に審議を進めるため小倉委員長のリーダーシップで各メンバーが分担して条文毎の見直し素案を作成し、それを基に検討し、「東日本区改訂定款(案)対照表」(タタキ台)を作成した。これを新設される「東日本区定款改訂委員会」に最終的な審議を委ね、当ワーキングチームの任務は終了した。「定款前文」については、作成することは基本的合意に至ったが公募方法を含め詳細は、東日本区定款改訂委員会にて検討することとした。



【第10回WT会合 前列右から2人目が小倉恵一リーダー】

2. 2016年7月30日、予定通り第2段階として、「東日本区定款改訂委員会(辻剛委員長)」が設立され、第1回委員会が開催された。(続き次号)

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《会議報告》

第26回東日本区大会

6/3-4

@APIO甲府

去る6月3-4日に開催された第26回東日本区大会（2022-23年度）に参加したので概要を報告します。なお、今回の区大会には、当クラブから、鈴木茂さん、鴨下純久さん、今城高之の3名が出席しました。

【6月3日】

1. 年次代議員会議

1) 各部部长、部選出代議員、各クラブ会長が出席して代議員大会が開催された。代議員定数73名中、出席42名、委任状12名、計54名の出席をもって代議員大会が成立した。

なお、議長は、長谷川あや子ワイズが務めた。

2) 以下の各議案が上程され、それぞれ賛成多数で承認された。

①2022-23年度東日本区年次報告及び行政監査報告承認の件・・・承認

②2022-23年度東日本区決算報告及び会計監査報告承認の件・・・承認

③次年度の次期理事（2025-26年度理事）、次期行政監事承認の件・・・承認
但し、次期、次々期は同一人が勤めるのでその次の理事は未定

④第28回東日本区大会ホストクラブ承認の件・・・宇都宮クラブの提案を承認（2026.6）

⑤2023-24年度東日本区理事方針承認の件・・・承認

⑥2023-24年度東日本区役員承認の件・・・承認

⑦2023-24年度東日本区予算承認の件・・・承認

⑧その他

2. オープニングセレモニー

山梨英和高校聖歌隊による演奏の後、バナーセレモニーが行われ、各部部长、各クラブ会長がそれぞれ部・クラブバナーを掲げて登壇した。

開会点鐘の後、ワイズソング・信条唱和、聖書朗読と祈禱があつて開会。

来賓として、樋口雄一甲府市長、田口努日本YMCA同盟総主事、利根川恵子アジア太平洋地域次期会長、田上正西日本区理事らが挨拶。

3. メモリアルアワーでは、過去1年間に天に召されたワイズメン、メネット等を、生前の映像を映して偲んだ。

4. 各種報告

佐藤重良区理事の理事報告に続き、代議員会報

告、各部部长報告、各事業主任報告、メネット報告が順次行われた。

5. 講演会

休憩の後、俳優の石丸健次郎氏の講演があった。氏がナレーターを務めるTV朝日の「世界の車窓から」は放送回数1万回を超える。（徹子の部屋に次いで第2位）多趣味な人であり、様々なテーマを軽妙に語り、聴衆を魅了する、心温まる講演であった。

6. 晩さん会

来賓・ゲスト、西日本区参加者（9名）を含む300人超が出席者した晩さん会は田上正西日本区理事による乾杯で始まり、地元の演奏者によるアトラクションやその他アピール等もある中、にぎやかに盛り上がった。

【6月4日】

7. 主日礼拝

日本キリスト教団愛宕町教会穴戸俊輔牧師により礼拝が執り行われた。なお、礼拝の席上献金が東日本大震災被災地支援に捧げられた。

8. 表彰式

東日本区奈良傳賞が、田村修也さん（那須クラブ/83歳）、鈴木健司さん（甲府クラブ/87歳）に授与されたのを皮切りに、数々の表彰が執り行われ、最後に、当横浜つづきクラブが「最優秀クラブ賞」を受賞した。（詳細別掲）

9. 理事/役員就任式・引継ぎ式

次期区理事ならびに区役員の就任式が執り行われ、続いて、今期理事・役員からの引継ぎ式が行われた。

10. 閉会式

佐藤理事よりの閉会の挨拶、荻野清大会実行委員長への感謝の言葉に続き、次期区大会ホスト（十勝クラブ）へ大会旗が引き継がれ、YMCAの歌と共に閉会。（以上/今城高之 記）



参加した湘南・沖縄部の面々

“To acknowledge the duty that accompanies every right”

北Y便利

横浜北YMCA健康教育部 森山 真治



私は、4月9日のイースターの日に、静岡県にある、日本バプテスト静岡キリスト教会で、浸礼を受けました。静岡キリスト教会は、私が幼少期に日曜学校に通っていた教会であり、この教会で浸礼を受けたく希望をしました。

私は、幼少期の頃から野球を行っていた為、小学生までは野球の傍ら、教会に通っていたものの、その後は、野球中心の生活となり、教会からは離れてしまいました。

就職してから、仕事に悩んでいた頃、学生の頃にアルバイトをしていたスポーツクラブのスタッフに相談をしたところ、そのスタッフが偶然にもYMCA専門学校の卒業生で、YMCAのことを話され、公益性に共感し、YMCAに入職したことを機に、また聖書に触れることができました。

その後、横浜北YMCAで館長の鴨下さんにお会いし、教会に足を運ぶことを勧められ、毎週日曜日にオンラインで礼拝に参加することとなり、浸礼を決めました。

これまで、私が浸礼を受けるまでには、私の力が及ばない、不思議な力が重なり、教会に結ばれることとなりました。このことは、神様に導かれたのではないかと感じています。

浸礼式の当日は、天候も良く、穏やかな日でした。教会のある場所は、静岡駅からは遠く、とても歩くことができない場所にありますが、当日、鴨下さんが教会の長椅子に腰掛けておられ、私は大変驚くと共に、感謝の気持ちが溢れました。

様々な方の優しさに触れ、私の人生の中でも忘れることのできない一日でした。

これからも神様と共に歩んでいく信仰生活を大事にしていきたいと思います。



《会議報告》2023年6月度事務例会

岡田美和 記

日時 2023年6月13日(火) 17:00～
場所 夢Café

出席者 今城H・T、大野、岡田、鴨下、
鈴木K・S、辻T・Tsu、横田

《議事概要》

1. 開会点鐘の後黙祷し開会
2. 会長より、鈴木茂ワイズが横浜YMCA総会で「奉仕の書」を受賞されたこと、ワイズ東日本区大会で、当クラブが「最優秀クラブ賞」を受賞したことが報告された。
3. 会長より、東日本区大会（6/3-4）、Y-Y's協議会(6/6)の概要が報告された。特記事項なし。
4. 審議・検討事項
 - ①秋の特別例会について、バス旅行で山中湖方面に向かうことし計画を進めることとなった。行程（案）は、ウスキー工場⇒忍野八海⇒河口湖紅葉まつり⇒東山荘（夕食）
 - ②6月の本例会（23日）は鈴木ワ

イズによる「ワイズとYMCA」と題した講演を行う。

- ③会長（次期会長）より、今年度の決算報告、次年度の活動方針、予算案は7月事務例会に提案し審議に供する予定が述べられ、了承された。また、次期の活動内容等についてメンバーからの提案を歓迎する。
- ④8月は、事務例会は休会、本例会は、You&コンサート運営委員会、クラブ納涼会を併催する方向で検討することを決定。
5. アピール・報告
 - ①5/26の三者交流会は30名の参加があり、楽しく賑やかに行われた。
 - ②都筑区社協に申請していたYou&コンサートへの助成金3万円が承認されたので近く請求書をもって受領する。
6. 黙祷・閉会点鐘で閉会し、最寄りのレストランで懇親会食会を開催。

《トピックス》奉仕の書授賞

5月27日に開催された横浜YMCA会員総会において、当クラブの鈴木茂さんが「奉仕の書」を受賞されました。「奉仕の書」表彰とは、横浜YMCA維持会員の中から特別貢献のあった人を表彰し、「奉仕の書」にその名を記すもので、表彰制度が始まった1976年以降86人目の受賞となります。鈴木さんは、2006年5月につづきワイズのチャーターメンバーとなり、2010年に横浜YMCAの常議員に選出された後、会員事業委員長、常議員会副議長を歴任され、2020年より2023年までの3年間横浜YMCA常議員会議長を務められました。本当におめでとうございます。



“To acknowledge the duty that accompanies every right”

《トピックス》 東日本区大会で表彰される 今城高之 記

4頁にも記載しましたが、去る6月3-4日に開催された東日本区大会（@甲府市）の年度表彰において、横浜つづきクラブが理事表彰の“最優秀クラブ賞”を受賞しました。特に顕著な活動実績があった訳でもない当クラブが、栄えある最優秀賞を頂くのは面はゆい気持ちで登壇し、佐藤重良理事より賞状を頂いた次第です。配布された表彰一覧に記載された授賞理由を以下に転載します。

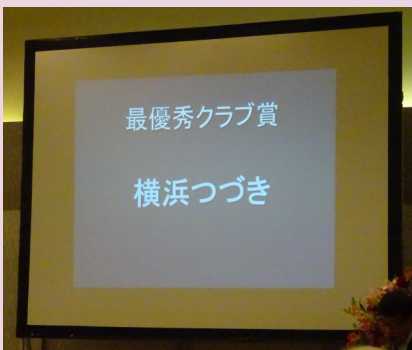
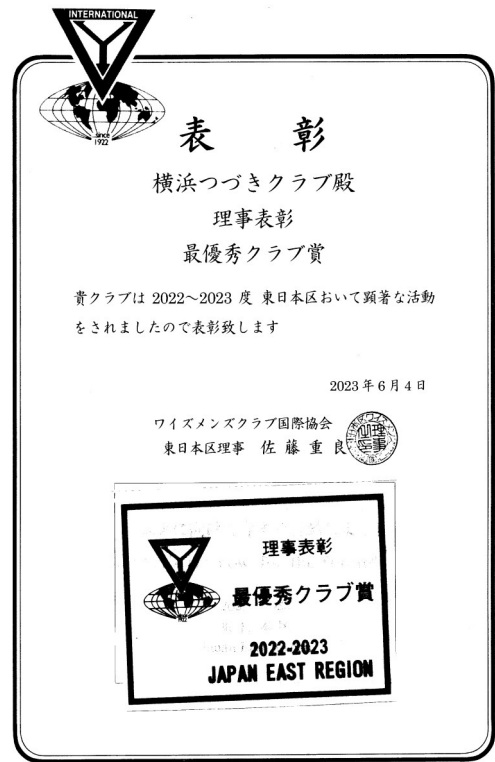
『コロナ禍にもかかわらず、TKB（Tsuzuki Kawaii Bachans）のメンバーを中心に、世の中の状況にあった心のもった活動を実施。

＜主な活動内容＞

TKBお仕事の高齢者施設と保育所へのお誕生日カードの送付/ウクライナ避難民の方々への手編みマフラーのお届け/You & I コンサートの再開』

地道な活動を継続したことが評価されたと理解され、大変誇らしい思いをいたしました。本当に嬉しいことです。なお、今回の表彰では、以下の各賞も受賞しましたのでご報告します。

- ◇ 地域奉仕・YMCAサービス事業CS献金達成賞
- ◇ 地域奉仕・YMCAサービス事業FF献金達成賞
- ◇ 会員増強事業 ノドロップ賞
- ◇ 国際・交流事業 TOF献金達成賞
- ◇ 国際・交流事業 YES献金達成賞



（右）受賞後、佐藤理事との記念写真
（左）会場のモニターに写し出された瞬間



《TKB便り》

TKB5月のお仕事では、宮城県の震災被災地にある「みやま荘」と「つばめの杜保育所」に送る6月の誕生日カードを作りました。6月に相応しいカエルの絵柄です。おじいちゃん・おばあちゃん、子どもたちが喜んでくださるの、嬉しい授賞です。

記事にもある通り、この間の東日本区大会で、つづきクラブが栄えある「最優秀クラブ賞」を受賞しました。授賞理由の一つにTKBの活動が取り上げられています。地道な活動を続けてきたことが認められたのです。私達もまだ頑張れるかな、という気持ちにさせてくれる、嬉しい授賞です。



5月のデータ

例会出席	12名	在籍会員数	16名	各種記録	月実績	年度累計
メンバー	12名	月間出席者数	12名	スマイル	0円	45,000円
ビジター	0名	メキップ*	1名	—	—	—
ゲスト	0名	月間出席率	81%	—	—	—

“To acknowledge the duty that accompanies every right”